

未来へ夢を育む学校



# 学校だより

(題字 学校長)

12月号 学校長 望月 重晴



## 人権週間テーマ「互いの違いを認め、尊重しよう」

～「ありがとう」から広がる豊かな心～

児童支援専任 原 陽子

本年度も12月1日から、「人権週間」が始まります。本校のテーマは「互いの違いを認め、尊重しよう」です。互いのよさを認め合い、ともに高め合えることが大切だと考えています。一人ひとりの考え方や感じ方に違いがあることは当たり前。言葉のやりとりや関わり合いから、友達の思いを理解し、自分と違った考え方や感じ方を知ることで、新たなものの見方や考え方が培われます。12月は「横浜市いじめ防止啓発月間」でもあります。互いのよさを認め合い、相手のことも自分のことも大切に思う心や行動が、いじめ防止にもつながっていきます。

今年度は、人権週間の取り組みの1つとして、サーチ委員会の児童が「気持ちを含めてありがとう週間」を設定しました。みんなが安心して気持ちよく過ごすことができる白幡小学校をめざすために、「ありがとうボックス」を設置し、友達との関わりの中から嬉しかったり安心したりしたエピソードを募集します。そして、集まったエピソードを給食の放送で紹介したり掲示したりします。この取組をきっかけに、あたたかい話し方や接し方について全校で考えたいと思っています。

「ありがとう」は、「めったにない」「めずらしい」を意味する「有り難し」という言葉が語源と言われています。「有る」ことが「難しい」。つまり「めったになく貴重である」といった意味になります。ちなみに「ありがとう」の対義語は「当たり前」です。人の優しさは「当たり前」のことではなく、「有り難い」ことと捉え、相手に「ありがとう」と感謝の気持ちを伝えることで、互いに温かさが生まれます。人権週間の取組をきっかけにして、あたたかさでいっぱい生活を過ごせたらと思います。ぜひ、ご家庭でも、お子さんと一緒に考えてみてください。よろしくお願いたします。



◆学校の教育活動の様子については、学校ホームページに掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shirahata/>

スマホ等はこちらから→

